

近衛殿跡

このえとのあと



桜の御所を偲ぶ

藤原北家の五摂家筆頭の近衛家別邸。庭に咲く糸桜の見事さが有名で、「桜の御所」と呼ばれた。同志社大学学生会館の発掘調査で、その建物の一部が見つかった。

新町通上立売下る近衛殿表町
 <同志社大学歴史資料館提供>

細川典厩邸跡

ほそかわてんきゅうていあと



將軍義晴を支えた人々

洛中洛外図によれば、足利政権を支えた管領細川晴元邸は寺之内通の南に、細川典厩邸は北にあった。典厩邸跡の発掘調査で高級陶磁器や刀飾具の筭などが出土。

寺之内通新町西入妙顕寺町
 <京都市考古資料館提供>

本満寺跡

ほんまんじあと



天文法華の乱の跡

応永17年に近衛道嗣の子の日秀が創建した日蓮宗寺院。同志社大学溪水館の発掘調査で、本満寺を巡っていたと推定される溝が見つかった。

新町通今出川上る元本満寺町
 <同志社大学歴史資料館提供>

宝鏡寺

ほうきょうじ

室町時代を代表する尼寺



寺之内通堀川東入百々町

百々御所、人形寺とも呼ばれる尼門跡寺院で洛中洛外図にも描かれる。

相国寺

しょうこくじ

寺号は左大臣だった義満に因む



今出川通烏丸東入
 相国寺前町

足利義満が創建した臨濟宗相国寺派の本山。京都五山の要。

天下人の面影をたどる



絢爛豪華な安土桃山文化を歩く、**安土桃山時代** 上京区南西のコースです。

聚楽第濠跡

じゅらくだいほりあと



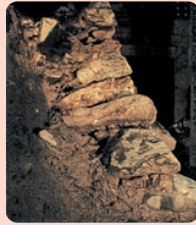
秀吉の栄華の跡を偲ぶ

天正15(1587)年に豊臣秀吉が築いた邸宅。天守閣を構え石垣を巡らせた城郭の景観だったという。西陣公共職業安定所の発掘調査で見つかった濠(深さ約8m)。

中立売通大宮下る和永町
 <京都府埋蔵文化財調査センター提供>

二条館跡

にじょうやかたあと



室町幕府最後の館

織田信長が永禄12(1569)年に造営を開始した、室町幕府將軍足利義昭の御所。地下鉄の発掘調査で石垣などの遺跡が見つかり、石仏などが多数出土。

室町通下立売下る武衛陣町
 <京都市考古資料館提供>

黒田如水邸跡

くろだじょすいていあと

秀吉政権を支えた軍師の邸宅



聚楽第の東北にあたり、黒田如水の邸宅があったとされる。木村重成は豊臣秀頼の家臣で夏の陣で戦死。

一条通猪熊西入如水町

北野大茶湯の碑

きたのおおちゃゆのひ

全国から集まった数奇者800人余



天正15(1587)年10月1日、秀吉主催の大茶会が行われた。

御前通今出川上る馬喰町

京都

上京区散策マップ

上京を歩く

かみぎよう ある

其の式





ものづくりの源流をたどる



京都のものづくりの源流を歩く、**江戸時代** 上京区東部のコースです。

鏡工房跡(青氏関連)

かがみこうぼうあと(あおしかんれん)



上京のものづくりの原点
同志社大学学生会館の発掘調査で、江戸時代の大規模な鏡工房が見つかった。南へ200mの畠山町には、禁裏御用鏡司の青氏があり関係が考えられる。

上立売通新町西入西大路町
<同志社大学歴史資料館提供>

伊藤仁斎古義堂跡

いとうじんさいこぎどうあと

門人は3000余人 - 堀川学派の拠点



東堀川通下立売上る
四丁目

寛文2(1662)年、自宅に儒学の古義堂を開いた。角倉氏は親類。

薩摩藩邸跡

さつまはんていあと

坂本竜馬と西郷隆盛と木戸孝允がいた



慶応2(1866)年1月、ここで薩長連合が成立したといわれる。

烏丸通今出川上る御所八幡町

山崎闇齋塾跡

やまざきあんさいじゅくあと

垂加神道の創始者



京都の鍼医の子だった闇齋は儒学を学び明暦元(1655)年に塾を開く。

葎屋町通下立売上る元福大名神町

水戸藩邸跡

みとはんていあと

幕末の動乱を生き抜いた遺跡



蛤御門のすぐ西にあった水戸藩邸跡から江戸時代の井戸が見つかった。

下長者町通烏丸西入鷹司町
<京都市考古資料館提供>

柳原邸跡

やなぎはらていあと



近世の公家屋敷を掘る
京都御苑内の発掘調査で江戸時代の公家屋敷跡が見つかった。写真は柳原邸の井戸。半地下式で三方を石垣で囲み、階段を設けている。

京都御苑北東
<京都市考古資料館提供>

本阿弥光悦京屋敷跡

ほんあみこうえつぎょうやしきあと

総合芸術家光悦の生誕地



江戸時代を代表する芸術家の光悦が鷹ヶ峰に移り住むまで暮らしていた。灰屋紹益は光悦を敬慕した豪商。

油小路通五辻下る実相院町

尾形光琳屋敷跡

おがたこうりんやしきあと

欧米にも影響を与えた琳派中興の祖



京都呉服商雁金屋尾形宗謙の次男で、狩野派にも絵を学んだ。

上御霊前通烏丸東入上る上御霊中町

茶屋四郎次郎屋敷跡

ちやしろうじろうやしきあと

徳川家の呉服師



小川通下長者町角鷹司町

徳川家康の側近として活躍し、朱印船貿易もおこなった豪商。

後藤長乗屋敷跡

ごとうちやうじろうやしきあと

京都3長者の1つ



鞍馬口通新町東入
長乗西町

祐乘と共に室町期に始まる装剣専門の金工師の家、歴代の権力者に仕え栄えた。

蛤御門

はまぐりごもん

京中大火3万戸



烏丸通下長者上る
京都御苑

元治元(1864)年7月19日、長州軍がここから御所に迫った(蛤御門の変)。

京都守護職屋敷跡

きょうとしゅごくごしよくやしきあと

幕末京都の治安維持を担う



京都府庁内

文久2(1862)年設立された役職で、その役宅が文久3年に新築された。

京都観光ガイド

●観光

京都市観光案内所 1 075-343-6655
京都市観光協会 1 075-752-0227
京都観光旅館連盟 1 075-221-6231
京都館情報コーナー(東京都) 1 03-5204-2265

●交通

京都市交通局市バス地下鉄乗客案内所
..... 1 075-801-2561
JR料金・時刻案内 1 0570-00-2486
新幹線料金・時刻案内 1 06-6452-3730

●その他

京都週間天気予報 1 075-231-9999

●その他

上京区ホームページ
..... <http://www.city.kyoto.jp/kamigyo/>
京都市観光情報システム
..... <http://raku.city.kyoto.jp/sight.html>
京都市情報館
..... <http://www.city.kyoto.jp/koho/>

上京歴史探訪館

~ 上京の歴史文化情報を地元から発信 ~

〒602-8176 京都市上京区下立売通智恵院西入(京・町家文化館内)
3月~5月、7月~11月の金~日曜日のみ開館。10時~16時。
入館無料。駐車場なし。
TEL・FAX: 075-812-2312
<http://kamigyo.doshisha.ac.jp>
(携帯版) <http://kami.doshisha.ac.jp>

このマップでは、上京区に各時代ごとに重層的に存在する歴史的に重要な場所や文学の舞台となった場所に身近にふれることのできる散策ルートを紹介しています。

監修: 鋤柄俊夫(同志社大学文化情報学部助教授)
協力: 出雲路敬直(下御霊神社宮司)
編集: 市澤泰峰(京都大学院)、中川敦之(同志社大学院)、松本尚子・谷口浩史・竹井良介・渡部和孝・中村尋・佐久間和彦・並木晴香・櫻惇志・青山友香・東峰裕之・渡邊俊祐・田中千紗子・上田卓(同志社大学)

発行: 京都市上京区役所 1 075-441-0111
発行日: 平成18年2月10日
平成19年3月HP版作成の際に一部修正を加えています。

イベントカレンダー

(主な年中行事)

3月 春の人形展/宝鏡寺
千本釈迦念仏/大報恩寺
(千本釈迦堂)

4月 春の一般公開/京都御所
春の特別拝観/相国寺
北野をどり/上七軒歌舞練場

5月 葵祭
ゑんま堂大念仏狂言/引接寺(千本ゑんま堂)
御霊祭/上御霊神社



春

夏



6月 御誕辰祭・大茅の輪くぐり/北野天満宮
夏越祓/白峯神宮
7月 御手洗祭・七夕祭/北野天満宮
精大明神例祭/白峯神宮
陶器供養法要と陶器市/大報恩寺
(千本釈迦堂)

8月 大文字五山送り火

9月 上京薪能/白峯神宮
萩まつり/梨木神社

10月 時代祭
ずいき祭/北野天満宮

11月 秋の一般公開、特別公開、特別展/京都御所、樂美術館、
宝鏡寺(人形寺)、茶道資料館、承天閣美術館など
亥子祭/護王神社



秋

冬



12月 大福梅の授与葵祭/北野天満宮
終い天神/北野天満宮
大根焚き/大報恩寺(千本釈迦堂)

1月 筆始祭・天満書/北野天満宮
初天神/北野天満宮

2月 追儺式鬼法楽/廬山寺

花の御所と 桜の御所



室町時代

『洛中洛外図』を歩く、
上京区北東部のコースです。

御霊神社(上御霊神社)
ごりょうじんじや(かみごりょうじんじや)

応仁の乱勃発の地



応仁元年(1467)1月18日、畠山政長と義就の戦いがおこり、応仁の乱が勃発した。

上御霊前通鳥丸東入上御霊町

百々橋跡

どぼしあど

応仁の乱の激戦地



この橋を挟んで東西両軍が対峙した。現地には礎石が残されている。

寺之内通堀川東入百々町

室町殿跡

むろまちどのあと



室町時代の日本の中心

足利義満が造営した將軍の邸宅。同志社大学寒梅館の発掘調査で義晴時代(16世紀中頃)の室町殿の施設が発見された。寒梅館北東隅に展示施設がある。

鳥丸通上立売下る御所八幡町

<同志社大学歴史資料館提供>

小川跡の碑

こかわあとのひ

上京一の繁華街



洛中洛外図によれば、小川の周辺に様々な商店や寺院が立ち並んでいた。

小川通今出川下る針屋町

山名宗全邸跡

やまなそうぜんていあど

東軍までの距離500m



応仁の乱で西軍を率いた山名宗全の邸宅跡。

堀川通上立売下る山名町

五辻通から 持明院大路へ



鎌倉時代

藤原定家と歩く、
上京区北部のコースです。

持明院殿跡

じみょういんどのあと

もうひとつの京の中心



大覚寺統(のちの南朝)と皇位を争った持明院統の仙洞御所。

新町通寺之内下る安楽小路町

五辻殿跡

いつつじどのあと

鳥羽天皇と後鳥羽上皇にゆかりの地



承久の乱や和歌で有名な後鳥羽上皇の邸所のひとつ。

五辻通千本東入西五辻町

持明院大路跡

じみょういんおおじあど



鎌倉時代のメインストリート

現在の立売通は鎌倉時代に持明院大路と呼ばれ、菊亭など貴族の邸宅が建ち並んでいた。同志社大学寒梅館の北端から、持明院大路の南限を示す溝が見つかっている。

立売通鳥丸西入立売東町

<同志社大学歴史資料館提供>

宝慈院

ほうじいん

鎌倉の風を感じる



北条氏の一流である金沢氏に嫁いだ無外如大尼を創建とする尼門跡。

衣棚通寺之内上る上木下町

北志寮地点

ほくしりょうちてん

定家と同じ時代を生きる



定家の一条京極邸に近い同志社北志寮地点から見つかった鎌倉時代の遺跡。

寺町通一条染殿町

